

◆ 東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラムに関する規則

制定 平24. 3. 29 役員会議決
 改正 平24. 6. 28、同25. 3. 28
 同26. 3. 27、同27. 3. 6
 同28. 3. 16、同29. 3. 1
 同30. 3. 2、同31. 2. 19
 令 2. 3. 3、令 3. 3. 18

(趣旨)

第1条 この規則は、東京大学大学院学則（以下「学則」という。）第9条の2の規定により実施される博士課程教育リーディングプログラム（以下「プログラム」という。）に関し、必要な事項を定めるものである。

(プログラムの目的)

第2条 プログラムは、グローバルに活躍するリーダーを養成するため、修士課程（専門職学位課程を含む。）から博士後期課程までの一貫した教育（獣医学、医学又は薬学の博士課程を含む。）を行う特別な教育課程とする。

(プログラムの編成)

第3条 プログラムは、主となる研究科又は教育部（以下「研究科等」という。）を定めて、編成される。
2 複数の研究科等の連携により専門分野の枠を超えて教育課程を編成する場合には、当該研究科等のうちから主となる研究科等を定めるものとする。

第4条 プログラムの名称、主となる研究科等及び養成する人材像等は、次のとおりとする。

プログラムの名称	主となる研究科等	養成する人材像等
1. フォトンサイエンス・リーディング大学院プログラム	理学系研究科	フォトンサイエンスのもつ学際性と革新性を活用して、知を創造する力と知を活用する力の両方を身につけ、産学官の広い分野で、課題解決とイノベーションを先導し、人類社会をリードする人材
2. ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム	医学系研究科	現在の生命科学研究の本質と医療開発の問題点を的確に見抜き、産学官の必要な関連分野の人材や技術を動員・育成しながら、ライフイノベーションを先導・牽引できる人材
3. サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム	新領域創成科学研究科	21世紀に人類が直面する地球・社会・人間システムに関わる課題を解決し、持続可能(サステイナブル)な社会の構築に貢献できる、幅広い知識、高度な専門性、俯瞰的な見識・倫理観、グローバルリーダーとしてのスキルを身につけた人材
4. 統合物質科学リーダー養成プログラム	工学系研究科	統合物質科学を基軸として、高度な専門性と科学技術全体を俯瞰するグローバルな視点を持ち、産学官の広い分野でオープンイノベーションを先導して、人類社会の課題解決をリードする人材
5. 数物フロンティア・リーディング大学院プログラム	数理科学研究科	数学と諸科学に対してグローバルな視点を持ち、高度な数学を創成し、展開しうる人材。最先端の数学を使いこなし、産業・環境分野に応用して社会に貢献しうる人材
6. ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム	情報理工学系研究科	先端 ICT（ビッグデータ、複雑システム、ヒューマンシステム）を基軸とし、複数専門分野を統合、新たな価値をもたらす知識社会経済システムを創造的にデザイン、社会イノベーションを先導するトップリーダーとチーム
7. 多文化共生・統合人間学プログラム	総合文化研究科	高度な専門性を備えたうえで、広い視座を持って新たな価値の創造を可能にする学知としての統合人間学、すなわち21世紀型の新しい教養を修得し、多文化共生社会という人類に課せられた重要なテーマに実践的に取り組むことができる人材
8. 活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム	工学系研究科	活力ある超高齢社会を共創する能力、すなわち、高齢社会問題に関する俯瞰的総合的知識と、特定分野における専門的研究能力に加え、分野横断的専門家チームを率いて課題解決に取り組む能力を備えた博士レベルの人材

9. 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム	公共政策学教育部	グローバルな視野で専門的・俯瞰的な知識を用いて課題を発見し、革新的科学技術と公共政策の統合的解決策を提示（デザイン）し、多様な関係者と連携して実行する人材
------------------------------------	----------	---

（教育課程及び修了要件）

第5条 プログラムの教育課程及び修了要件は、別表のとおりとする。

（選考）

第6条 プログラムの主となる研究科等は、当該プログラムを履修させる者の選考基準及び選考方法を定めるものとする。

（学生の所属）

第7条 プログラムを履修する学生は、所属する研究科等又は専攻を変更することなく履修するものとする。

（修了証）

第8条 プログラムを修了した学生については、当該プログラムの主となる研究科等の長から総長に修了した旨の報告があったときは、修了証を交付する。

2 修了証の様式は、別記様式のとおりとする。

（雑則）

第9条 この規則に定めるもののほか、プログラムに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成24年6月28日から施行し、改正後の東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラムに関する規則の規定は、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

附 則

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2 この改正に伴う経過措置は、別に定める。

別表 教育課程及び修了要件

〔1. フォトンサイエンス・リーディング大学院プログラム〕

授業科目名等	単位数	履修方法	備考
先端光科学実験実習Ⅰ	1	選択必修	2科目のうち1単位以上
先端光科学実験実習Ⅱ	1		
最先端光科学講義Ⅰ	2	選択必修	16科目のうち6単位以上
最先端光科学講義Ⅱ	2		
最先端光科学講義Ⅲ	2		
最先端光科学講義Ⅳ	1		
最先端光科学講義Ⅴ	1		
最先端光科学講義Ⅵ	1		
最先端光科学講義Ⅶ	1		
最先端光科学講義Ⅷ	1		
最先端光科学講義Ⅸ	1		
最先端光科学講義Ⅹ	2		
最先端光科学講義ⅩⅠ	2		
最先端光科学講義ⅩⅡ	2		
最先端光科学講義ⅩⅢ	2		
最先端光科学講義ⅩⅣ	2		
最先端光科学講義ⅩⅤ	1		
最先端光科学講義ⅩⅥ	1		

上記授業科目の履修のほか、企業等へのインターンシップ、海外研究機関派遣又は国内研究機関派遣のうち、いずれかに参加しなければならない。

〔2. ライフイノベーションを先導するリーダー養成プログラム〕

授業科目名等	単位数	履修方法	備考
ライフイノベーション分野俯瞰講義	2	必修	
ライフイノベーションリーダー論	2		
ライフイノベーション学外実習	2		
ライフイノベーション学内実習	2		
ライフイノベーション輪講	2		

〔3. サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム〕

新領域創成科学研究科で開設するサステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムを修了することにより、本プログラムを修了したものとする。

〔4. 統合物質科学リーダー養成プログラム〕

開設研究科	開設専攻	授業科目名等	単位数	履修方法	備考
工学系研究科	共通	統合物質科学俯瞰講義Ⅰ	2	選択必修	2科目のうち2単位以上
		統合物質科学俯瞰講義Ⅱ	2		
		統合物質科学講義Ⅰ	2	選択	
		統合物質科学講義Ⅱ	1		
		統合物質科学講義Ⅲ	1		

上記授業科目の履修のほか、別に定める MERIT コロキウム及び MERIT エグゼクティブセミナーに参加しなければならない。また、別に定める MERIT 実践演習として、自発融合研究、起業挑戦、長期海外派遣又はインターンシップのいずれかに参加しなければならない。

[5. 数物フロンティア・リーディング大学院プログラム]

授業科目名等	単位数	履修方法	備 考		
【数理科学研究科開講科目】					
数物先端科学 I	2				
数物先端科学 II	2				
数物先端科学 III	2				
数物先端科学 IV	2				
数物先端科学 V	2				
数物先端科学 VI	2				
数物先端科学 VII	2				
数物先端科学 VIII	2				
数物先端科学 IX	2				
数物先端科学 X	2				
【理学系研究科開講科目】					
数物連携先端科学 I	2	選択必修	30科目のうち6単位以上 修得すること。		
数物連携先端科学 II	2				
数物連携先端科学 III	2				
数物連携先端科学 IV	2				
数物連携先端科学 V	2				
数物連携先端科学 VI	2				
数物連携先端科学 VII	2				
数物連携先端科学 VIII	2				
数物連携先端科学 IX	2				
数物連携先端科学 X	2				
数物連携先端科学 X I	2				
数物連携先端科学 X II	2				
数物連携先端科学 X III	2				
数物連携先端科学 X IV	2				
数物連携先端科学 X V	2				
数物連携先端科学 X VI	1				
数物連携先端科学 X VII	1				
数物連携先端科学 X VIII	1				
数物連携先端科学 X IX	1				
数物連携先端科学 X X	1				
【数理科学研究科開講科目】					
社会数理先端科学 I	2	選択必修	7科目のうち2単位以上修 得すること。		
社会数理先端科学 II	2				
社会数理先端科学 III	2				
社会数理先端科学 IV	2				
【理学系研究科開講科目】					
社会数理先端科学 V	2				
社会数理先端科学 VI	1				
社会数理先端科学 VII	1				

上記授業科目の履修のほか、企業等におけるインターンシップ、海外の研究機関等への派遣のうち、いずれかに参加しなければならない。

[6. ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム]

課程	授業科目名等	単位数	履修方法	備考
博士 修士 課程	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅰ	2	必修又は 選択必修*	
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅱ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅲ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅳ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅴ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅵ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅶ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅷ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅸ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義Ⅹ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅠ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅡ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅢ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅣ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅤ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅥ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅦ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅧ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅨ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅩ	2		
グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅩⅠ	2			
グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅩⅡ	2			
グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅩⅢ	2			
グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅩⅣ	2			
グローバル・クリエイティブリーダー講義ⅩⅩⅤ	2			
博士 後 期 課程	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅰ	2	必修又は 選択必修*	
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅱ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅲ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅳ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅴ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅵ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅶ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅷ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅸ	2		
	グローバル・クリエイティブリーダー特別講義Ⅹ	2		

上記授業科目の履修のほか、以下を修了要件とする。詳細は別に定める。

- 1 グローバル デザイン ワークショップへの参加
- 2 社会イノベーション プロジェクトの実践
- 3 海外インターンシップ、国内インターンシップへの参加

* プログラム履修学生の所属によって異なる。詳細は別に定める。

[7. 多文化共生・統合人間学プログラム]

授業科目名等	単位数	履修方法	備 考
多文化共生・統合人間学講義Ⅰ	2	必修	
多文化共生・統合人間学講義Ⅱ	2	選択必修	3科目のうち2単位以上
多文化共生・統合人間学講義Ⅲ	2		
多文化共生・統合人間学講義Ⅳ	2		
多文化共生・統合人間学講義Ⅴ	2	選択必修	4科目のうち4単位以上
多文化共生・統合人間学講義Ⅵ	2		
多文化共生・統合人間学講義Ⅶ	2		
多文化共生・統合人間学講義Ⅷ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅰ	2	選択必修	11科目のうち2単位以上
多文化共生・統合人間学演習Ⅱ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅲ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅳ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅴ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅵ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅶ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅷ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅸ	2		
多文化共生・統合人間学演習Ⅹ	2		
多文化共生・統合人間学演習ⅩⅠ	2		
多文化共生・統合人間学実験実習Ⅰ	2	選択必修	5科目のうち2単位以上
多文化共生・統合人間学実験実習Ⅱ	2		
多文化共生・統合人間学実験実習Ⅲ	2		
多文化共生・統合人間学実験実習Ⅳ	2		
多文化共生・統合人間学実験実習Ⅴ	2		
多文化共生・統合人間学特別研究Ⅰ	1	必修	
多文化共生・統合人間学特別研究Ⅱ	1		
多文化共生・統合人間学特別研究Ⅲ	1		
多文化共生・統合人間学特別研究Ⅳ	1		
多文化共生・統合人間学特別研究Ⅴ	1		
多文化共生・統合人間学特別研究Ⅵ	1	選択	

[8. 活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム]

授業科目名等	単位数	履修方法	備 考
高齢社会総合研究学概論Ⅰ	2	必修	
高齢社会総合研究学概論Ⅱ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅰ	2	選択必修	左記科目のうち6単位以上 修得すること。
高齢社会総合研究学特論Ⅱ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅲ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅳ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅴ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅵ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅶ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅷ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅸ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅹ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅺ	2		
高齢社会総合研究学特論Ⅻ	2		
高齢社会総合研究学特論ⅪⅠ	1		
高齢社会総合研究学特論ⅪⅡ	1		

高齢社会総合研究学特論 XXIII	1		
高齢社会総合研究学特論 XXIV	1		
高齢社会総合研究学特論 XXV	0.5		
高齢社会総合研究学特論 XXVI	0.5		
高齢社会総合研究学特論 XXVII	0.5		
高齢社会総合研究学特論 XXVIII	0.5		
高齢社会総合研究学実習 I	2	選択必修	学年・課程によって該当する実習・演習を修得すること。詳細は別に定める。
高齢社会総合研究学実習 II	2		
高齢社会総合研究学実習 III	2		
高齢社会総合研究学実習 IV	2		
高齢社会総合研究学実習 V	2		
高齢社会総合研究学実習 VI	2		
高齢社会総合研究学実習 VII	2		
高齢社会総合研究学実習 VIII	2		
高齢社会総合研究学演習 I	1		
高齢社会総合研究学演習 II	1		
高齢社会総合研究学演習 III	1		
高齢社会総合研究学演習 IV	1		
高齢社会総合研究学演習 V	1		
高齢社会総合研究学演習 VI	1		
高齢社会総合研究学演習 VII	1		
高齢社会総合研究学演習 VIII	1		
高齢社会総合研究学演習 IX	1		
高齢社会総合研究学演習 X	1		

[9. 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム]

授業科目名等	単位数	履修方法	備 考
Social Design and Global Leadership	2	必修	
工学コンピテンシー I	2	選択必修 1	2科目のうち1科目を履修し、2単位を修得すること。
Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)	1		
先端科学技術講義 1	2	選択必修 2	先端科学技術講義 1～70のうち2単位以上修得すること。
先端科学技術講義 2	2		
先端科学技術講義 3	2		
先端科学技術講義 4	2		
先端科学技術講義 5	2		
先端科学技術講義 6	2		
先端科学技術講義 7	2		
先端科学技術講義 8	2		
先端科学技術講義 9	2		
先端科学技術講義 10	2		
先端科学技術講義 11	2		
先端科学技術講義 12	1		
先端科学技術講義 13	1		
先端科学技術講義 14	4		
先端科学技術講義 15	2		
先端科学技術講義 16	2		
先端科学技術講義 17	2		
先端科学技術講義 18	2		

先端科学技術講義 19	2		
先端科学技術講義 20	2		
先端科学技術講義 21	2		
先端科学技術講義 22	2		
先端科学技術講義 23	2		
先端科学技術講義 24	2		
先端科学技術講義 25	2		
先端科学技術講義 26	4		
先端科学技術講義 27	2		
先端科学技術講義 28	2		
先端科学技術講義 29	2		
先端科学技術講義 30	2		
先端科学技術講義 31	2		
先端科学技術講義 32	2		
先端科学技術講義 33	2		
先端科学技術講義 34	2		
先端科学技術講義 35	2		
先端科学技術講義 36	2		
先端科学技術講義 37	2		
先端科学技術講義 38	2		
先端科学技術講義 39	2		
先端科学技術講義 40	1		
先端科学技術講義 41	2		
先端科学技術講義 42	1		
先端科学技術講義 43	1		
先端科学技術講義 44	1		
先端科学技術講義 45	2		
先端科学技術講義 46	2		
先端科学技術講義 47	2		
先端科学技術講義 48	1		
先端科学技術講義 49	2		
先端科学技術講義 50	2		
先端科学技術講義 51	2		
先端科学技術講義 52	2		
先端科学技術講義 53	2		
先端科学技術講義 54	2		
先端科学技術講義 55	2		
先端科学技術講義 56	1		
先端科学技術講義 57	1		
先端科学技術講義 58	2		
先端科学技術講義 59	2		
先端科学技術講義 60	2		
先端科学技術講義 61	2		
先端科学技術講義 62	2		
先端科学技術講義 63	2		
先端科学技術講義 64	2		
先端科学技術講義 65	2		
先端科学技術講義 66	2		
先端科学技術講義 67	2		
先端科学技術講義 68	2		
先端科学技術講義 69	2		
先端科学技術講義 70	2		
グローバル社会・政策講義 1	2	選択必修 2	グローバル社会・政策講義 1 ～80のうち2単位以上修得す ること。
グローバル社会・政策講義 2	2		
グローバル社会・政策講義 3	2		
グローバル社会・政策講義 4	2		
グローバル社会・政策講義 5	2		
グローバル社会・政策講義 6	2		
グローバル社会・政策講義 7	2		

グローバル社会・政策講義 67	2		
グローバル社会・政策講義 68	2		
グローバル社会・政策講義 69	2		
グローバル社会・政策講義 70	2		
グローバル社会・政策講義 71	2		
グローバル社会・政策講義 72	2		
グローバル社会・政策講義 73	2		
グローバル社会・政策講義 74	2		
グローバル社会・政策講義 75	2		
グローバル社会・政策講義 76	2		
グローバル社会・政策講義 77	2		
グローバル社会・政策講義 78	2		
グローバル社会・政策講義 79	2		
グローバル社会・政策講義 80	2		
課題解決力演習 1	2	選択必修 2	課題解決力演習 1～23 のうち 2 単位以上修得すること。(但 し選択必修 1 でとった科目と は重複させない)
課題解決力演習 2	2		
課題解決力演習 3	2		
課題解決力演習 4	2		
課題解決力演習 5	2		
課題解決力演習 6	2		
課題解決力演習 7	2		
課題解決力演習 8	2		
課題解決力演習 9	4		
課題解決力演習 10	2		
課題解決力演習 11	2		
課題解決力演習 12	2		
課題解決力演習 13	2		
課題解決力演習 14	2		
課題解決力演習 15	2		
課題解決力演習 16	2		
課題解決力演習 17	2		
課題解決力演習 18	2		
課題解決力演習 19	2		
課題解決力演習 20	2		
課題解決力演習 21	2		
課題解決力演習 22	2		
課題解決力演習 23	2		

選択必修 2 からは英語による科目 4 単位以上を含めた 8 単位を履修するほか、Qualifying Examination、課題研究構想ワークショップ及び国際プロジェクト実習に合格したうえで、プログラム修了試験に合格すること。

別記様式

第〇〇〇号
修 了 証
東京大学大学院〇〇研究科（又は〇〇学府）〇〇専攻
氏 名
本学大学院博士課程教育リーディングプログラム「プログラムの名称」の教育 課程を修了したことを認める
〇〇年〇〇月〇〇日
東京大学総長 氏 名 印